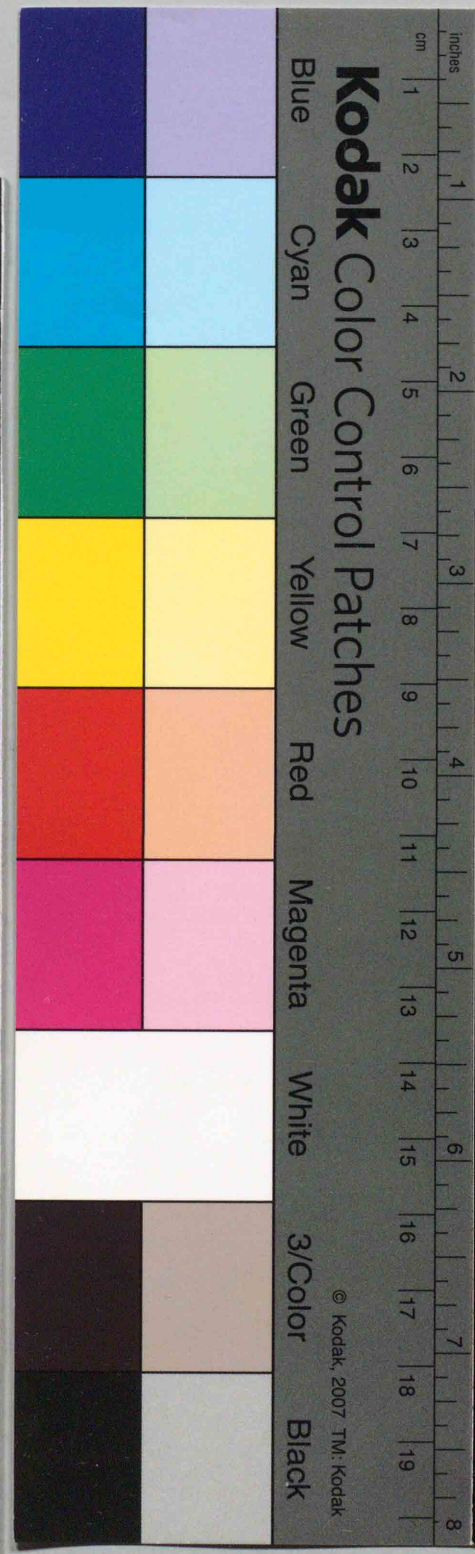
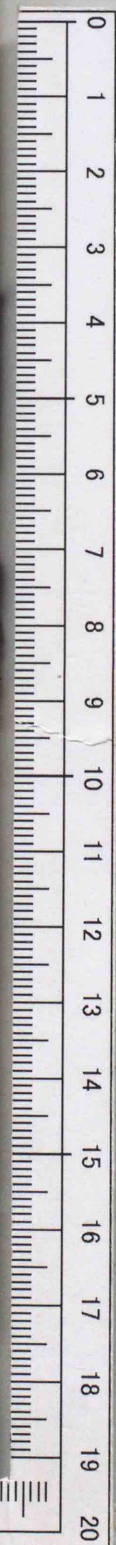


3759
M.14
資料室

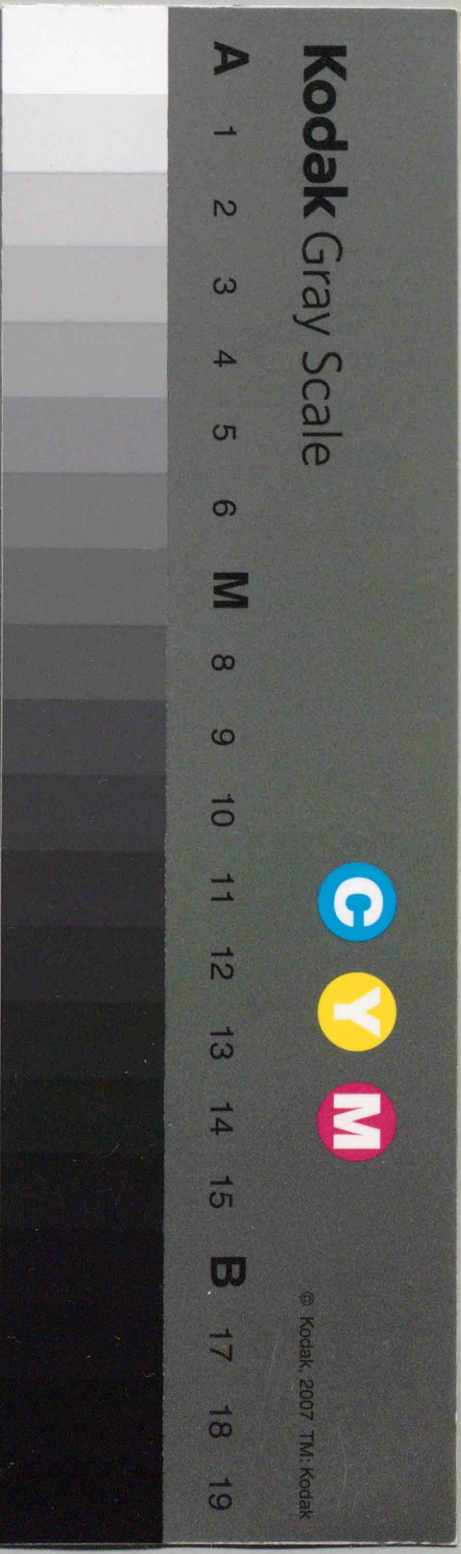
ウツブンモ



Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

C
Y
M

© Kodak, 2007 TM: Kodak

43125

教科書文庫

4
810
33-1941
2000 30 23/18



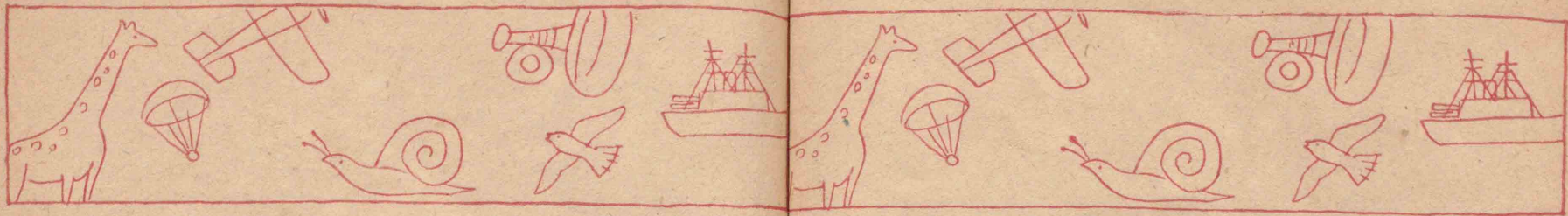
資料室

3957
Mo 14

ヨシヅカ



モジヤン



モク ロク

一	山ノ上	四
二	アシタハウンドウクワイ	七
三	ウサギトカメ	十二
四	ラジオノコトバ	十六
五	西ハタヤケ	十八
六	カマキリヂイサン	二十二
七	サルトカニ	二十三
八	オチバ	三十一
九	イモヤキ	三十三
十	コモリウタ	三十八
十一	オイシヤサマ	四十
十二	デンシヤゴツコ	四十四

十三	ケンチャン	四十六
十四	冬	五十
十五	お正月	五十六
十六	兵タイゴツコ	五十八
十七	ネズミノヨメイリ	六十五
十八	シヤシン	七十七
十九	カゲエ	八十
二十	日本のしるし	八十四
二十一	花サカヂヂイ	八十六
二十二	ユメ	九十四
二十三	机とこしかけ	九十六
二十四	ウグヒス	九十八
二十五	つくし	百二
二十六	汽車	百三

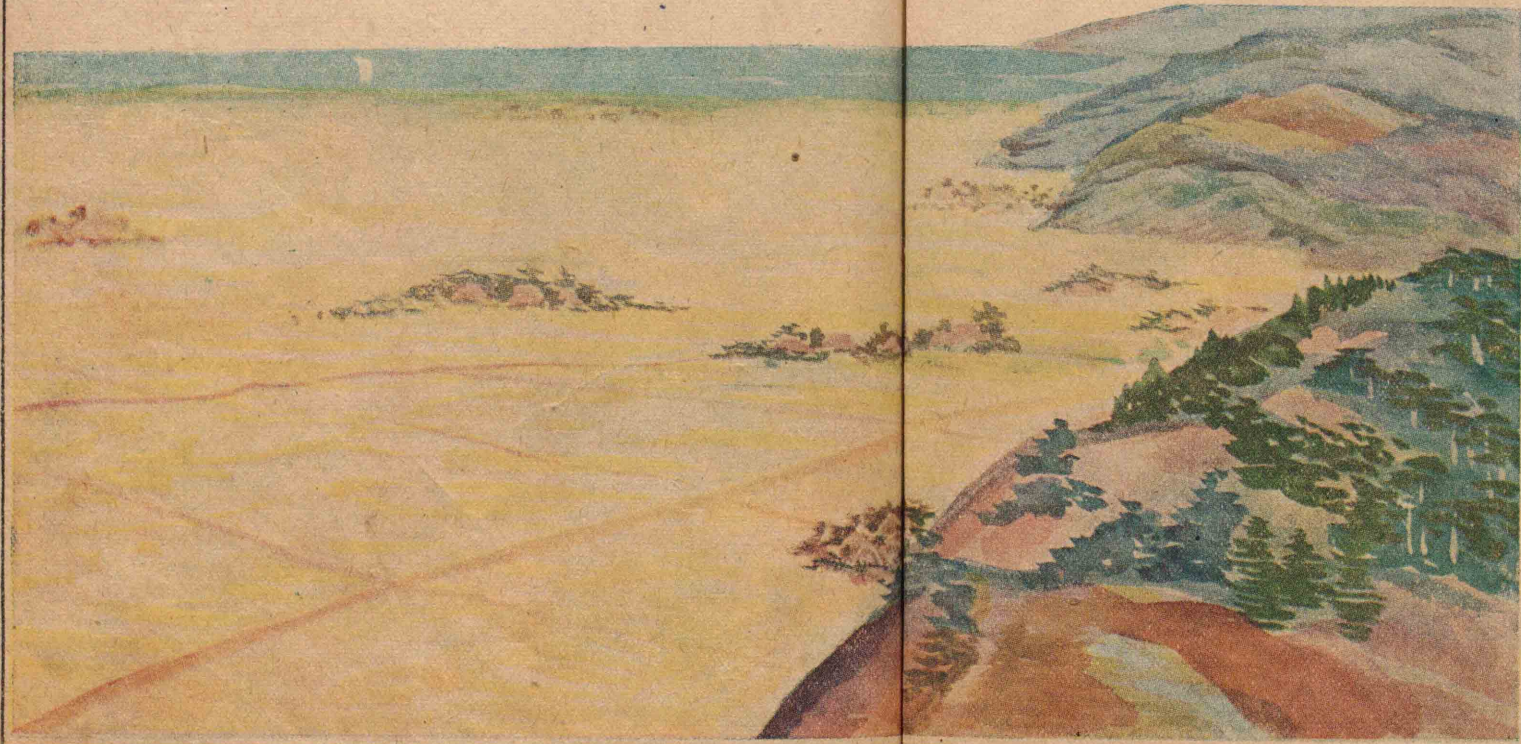


一 山ノ上

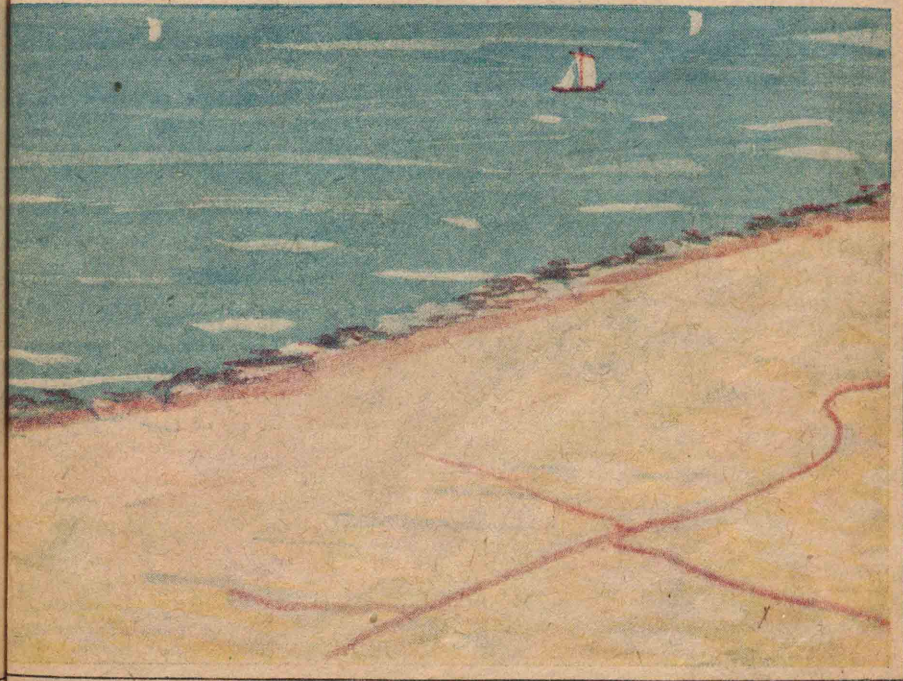
ムカフノ山ニ
ノボツタラ、
山ノムカフハ
村ダツタ、
タンボノツツク
村ダツタ。



ツツクタンボノ
ソノサキハ、
ヒロイ、ヒロイ
海ダツタ、
青イ、青イ
海ダツタ。



小サイシラホガ
 ニツ三ツ、
 青イ海ニ
 ウイテ 井タ、
 トホクノ方ニ
 ウイテ 井タ。



ニ アシタハウンドウクワイ



ヒルスギカラ、空ガクモツ
 テ来マシタ。
 アシタハウンドウクワイ
 デス。勇サンハ、天キガシ
 ンパイデタマリマセン。
 外へ出テ、空バカリ見テ

キマス。

勇サンハ、カミデ テルテルバウズヲ ツクリ
マシタ。ソレヲ ニハノ 木ノ 枝ニ ツルシテ、
テルテルバウズ、

テルバウズ、

アシタ 天キニ

シテ オクレ。

トウタヒマシタ。

ケレドモ、空ハ、ダンダン クラク ナツテ 來
マシタ。トウトウ 雨ガ フリダシマシタ。テ
ルテルバウズハ、ビシヨヌレニ ナツテ、ナイ
テ キマス。

少シ タツテカラ、勇サンハ、オカアサンニ イ
ヒツカッテ、ハガキヲ 出シニ イキマシタ。
勇サンハ、「雨ガ フツテ ツマラナイナア。」ト
イヒナガラ、カサヲ サシテ 出カケマシタ。

少シイクト、トケイヤ
ノ店カラ、ラジオオガキ
コエテ来マシタ。

「コンヤハ雨デスガ、
アスハヨイ天キニ
ナリマス。」

勇サンハ、ウレシクテ
タマリマセンデシタ。

大イソギデハガキヲ出シテ、ウチヘカヘリ
マシタ。

「オカアサン、アシタハオ天キデス。ラジ
オガサウイヒマシタヨ。」

トイヒマス、オカアサンハ、

「マア、ヨカッタネ。デハ、オイシイオベン
タウヲコシラヘテアゲマスヨ。」
トオツシヤイマシタ。



三 ウサギトカメ

ウサギ 「カメサン、コンニチハ。」

カメ 「ウサギサン、コンニチハ。」

ウサギ 「ナニカ、オモシロイコトハナイカナ。」

カメ 「サウダネ。」

ウサギ 「カケツコロ シヨウカ。」

カメ 「ソレハオモシロイ。」

ウサギ 「デモ、ボクノカチニキマツテキルナ。」

カメ 「ソんなコトハナイヨ。」

ウサギ 「デハ、ヤラウ。ケツシヨウテンハ、アノ山

ノ上ダヨ。」

カメ 「山ノ上。イイトモ。」

ウサギ 「ヨウイ、ドン。」

ウサギ 「オソイカメサنداナ。アンナニオク」

レテ シマッタ。

コノヘンデ、ヒル

ネヲ シヨウ。

グウグウグウ。

カメ「オヤオヤ、ウサギサン、

ヒルネヲ シテ 舂ルゾ。

イマノウチニ オヒ

コサウ。急ゲ、急ゲ。」



ウサギ

「アア、イイ キモチ ダッタ。マダ、カメサ

ンハ ココマデ 来ナイダラ

ウ。ドレ、出カケヨウカナ。

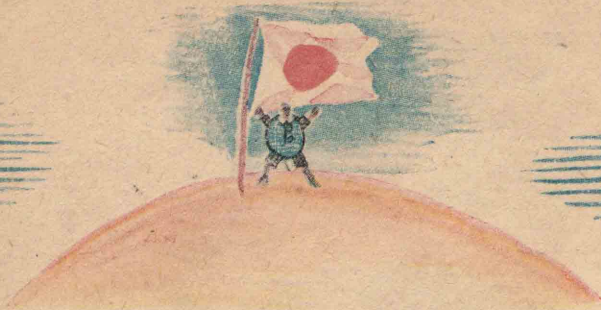
オヤ、山ノ上ニ ダレカ 舂

ルゾ。」

カメ「バンザイ。」

ウサギ「ヤア、カメサンダ。シマツ

タ、シマッタ。」



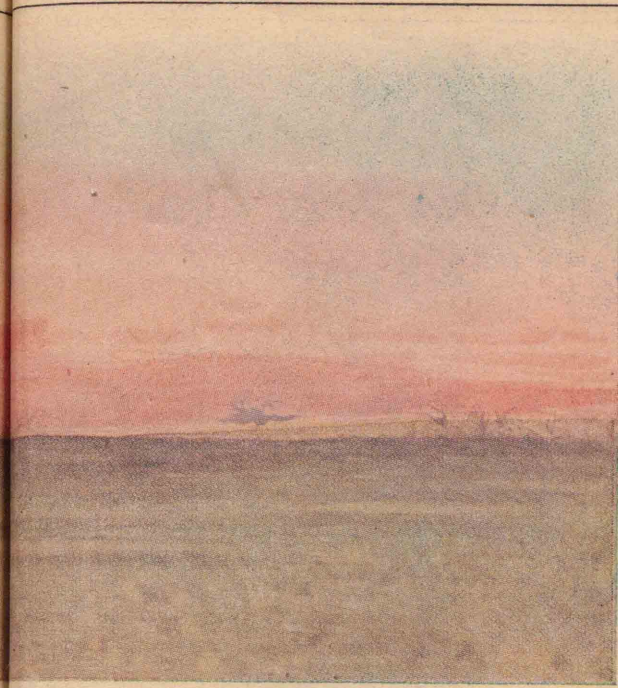
四 ラジオノコトバ



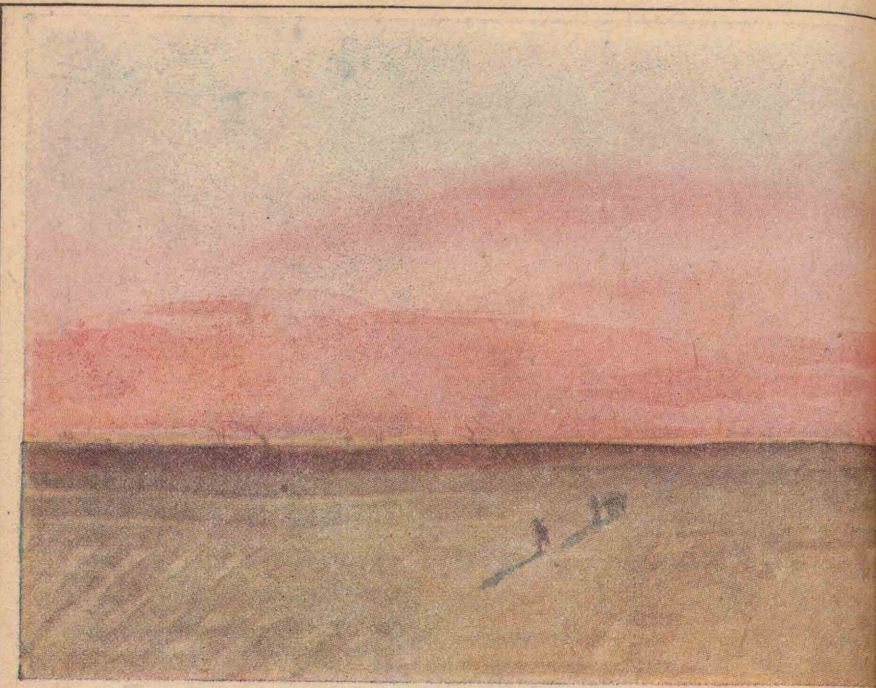
日本ノラジオハ、
日本ノコトバヲハナシマス。

正シイコトバガ、
キレイナコトバガ、
日本中ニキコエマス。
マンシウニモトドキマス。
シナニモトドキマス。
セカイ中ニヒビキマス。

五 西ハタヤケ



勇サンハ、マシシウノ
ヲヂサンカラ、本ヲ
オクツテ イタダキマ
シタ。マンシウノ子
ドモタチノヨム本
デシタ。



一バン ハジメニ、マ
ンシウノ 空ノ ウツ
クシイ コトガ、カイ
テアリマシタ。ソレ
カラ、ヒロイ、ヒロイ
ノハラニ、カウリヤン
ト イツテ、日本ノキ
ビニニタモノガデ

キルコトガ、カイテアリマシタ。
ヨンデイクウチニ、ツギノヤウナウタガ
アリマシタ。

西ハタヤケ赤イクモ、

東ハマルイオ月サマ。

カウリヤンカッテヒロイナア、

ドツチヲ見テモヒロイナア。

ヒロビロトシタマンシウへ、勇サンハイッ
テ見タクナリマシタ。

勇サンハ外へ出テ、ムネヲハリナガラ、イ
キヲイツハイスヒコミマシタ。サウシテ、
大キナコエデウタヒマシタ。

西ハタヤケ赤イクモ、

東ハマルイオ月サマ。

カウリヤンカッテヒロイナア、
ドツチヲ見テモヒロイナア。

六 カマキリヂイサン

カマキリヂイサン

イネカリニ、

カマヲカツイデ

アゼミチヲ、

トホイタンボヘ

急ギマス。

キレイニハレタ

秋ノ日ニ、

トホイタンボヘ

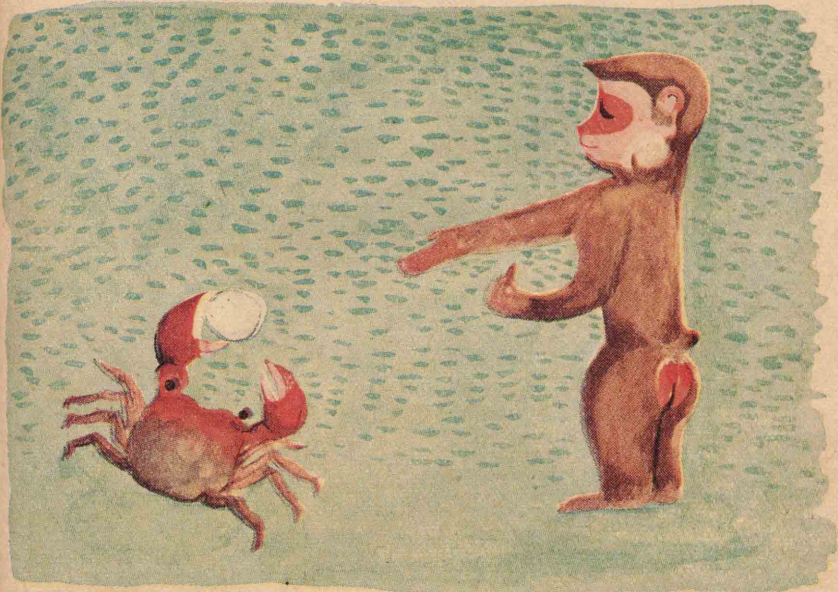
急ギマス。

七 サルトカニ

サルガ、柿ノタネヲヒロヒマシタ。

カニガ、ニギリメシヲヒロヒマシタ。





サルハ、カニニイツ
テ、柿ノタネトリ
カヘツコヲシマシタ。
サルハ、ニギリメシヲ
オイシサウニタベマ
シタ。
カニハ、柿ノタネヲ
ニハニマキマシタ。

「早くメヲ出セ、
柿ノタネ。」
早くメヲ出セ、
柿ノタネ。」
メガ出マシタ。
「早く木ニナレ、
柿ノタネ。」
早く木ニナレ、



柿ノタネ。

木ニナリマシタ。

「早クミガナレ、柿ノタネ。

早クミガナレ、柿ノタネ。」

大キナ柿ガ、タクサンナリマシタ。

サルガアソビニ來マシタ。

「ボクガトツテアゲヨウ。」

トイッテ、木ニノボリマシタ。長イ手ヲノ



バシテ、柿ヲイクツモ

イクツモトリマシタ。

サルハジブンバカリ

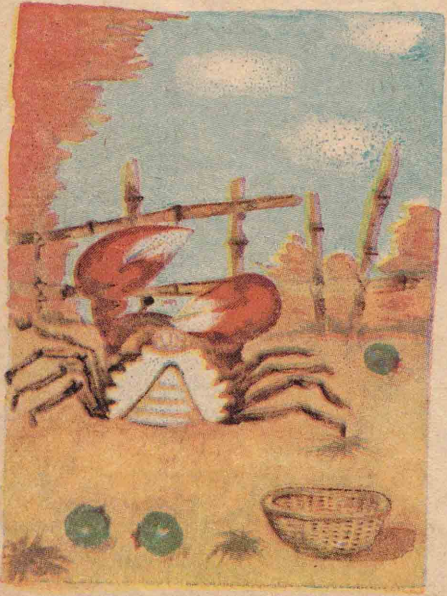
タベマシタ。シマヒニ、

青イ柿ヲカニニナゲ

ツケテ、イッテシマヒマ

シタ。

カニハ大ケガヲシマシ





タ。
 ソコへ、ハチガ来マシタ。
 ウスガ来マシタ。
 栗ガ来マシタ。
 ミンナデ、サルヲ コラス
 コトニシマシタ。
 サルヲヨビニヤリマシタ。
 サルガ、カニノウチへ来

八 オチバ

キヌ子サント 花子サंगा、オチバヲ ヒロヒ
 ニ、林ノ中へ行キマシタ。
 キイロナ ハヤ、マツカナ ハガ、タクサン
 オチテ 来マス。
 アルクト、カサカサ音ガシマス。
 キヌ子サंगा、キイロナ ハヲ一マイヒロツ

テ、日ニスカシナガラ、

「ハノスチガ、キレイ

ニ見エマスヨ。」

トイヒマシタ。

花子サンガ、モミヂノ

ハヲヒロツテ、

「コレヲオシバニシ

マセウ。」

トイヒマシタ。

小トリガ、チチチチトナイテキマス。

九 イモヤキ

「ケフハ、ハタケノカタツケヲシヨウ。」

ト、オトウサンガオツシヤイマシタノデ、オカ

アサンモ、ボクモ、弟モ、ハタケニ出マシタ。

ミンナデ、アチラコチラニオチテキル木



ノ枝ヤ、カレ草ナドヲ、ヒトトコロニアツメ
マシタ。ソレニ、オトウサंगा火ヲオツケニ
ナリマシタ。ケレドモ、スグ消エマシタ。
オカアサंगा、カンナクヅヲモツテオイデ

ニナリマシタ。コンドハ
ヨクモエマシタ。ミン
ナデ、カレ枝ヤオチバヲ
カブセルト、パチパチト
モエアガリマシタ。

弟ハ、

「エンマクダ、エンマク
ダ。」

トイッテ、ヨロコビマシ
タ。

オカアサंगा、大キナオ
イモヲニツモツテ來テ、灰ノ中へオ入レ



ニナリマシタ。

「早くヤケナイカナ。」

ト、弟ガイヒマシタ。ボクハ、

「ソんなニ早くハ ヤケナイヨ。」

トイッテ、弟ト、オトナリノウサギノ子ヲ

見ニ行キマシタ。ウサギノ子ハ、五ヒキ

テ、ヒトカタマリニナッテ 舂マシタ。

オイモノコトヲオモヒ出シテ、マタハタケ

へ行キマシタ。オイモノニホヒガ、オイシ

サウニシテ 舂マシタ。

オトウサंगा、

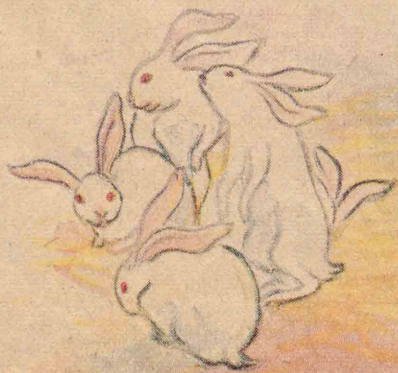
「ドレ、ドレ。」

ト、灰ノ中ヲサガシテ、

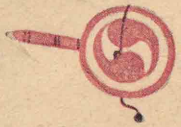
「ヤケタ、ヤケタ。」

トオツシヤイマシタ。

ワタクシタチハオイシクタ、ベマシタ。



十
コモリウタ



ネンネン コロリヨ、

オコロリヨ。

バウヤハヨイ子ダ、

ネンネシナ。

バウヤノオモリハ、

ドコへ行ッタ。

アノ山コエテ、

里へ行ッタ。

里ノミヤゲニ、

ナニモラッタ。

デンデンダイコニ、

シヤウノフエ。



十一 オイシヤサマ

花子サンハ、人ギヤウガ 病氣ニ ナッタノデ、
オイシヤサマヲ ヨビマシタ。
オイシヤサマハ 正男サン デス。 オトナノ
バウシヲ カブツテ、大キナ カバンヲ モツテ、
ハイツテ 來マシタ。

「ゴ病人ハ ドチラ デスカ。」

「アチラニ ネテ ヲ」

リマス。」

花子サンハ、正男サン
ヲ オクヘ トホシマ
シタ。
正男サンハ、人ギヤウ
ノ ソバニ スワリマ
シタ。



正男サンハ、人ギヤウノ手ヲトリマシタ。ヒ
タヒニサハツテミマシタ。オナカラオサ
ヘテミマシタ。

正男サンガ、アンマリジヤウズニ、オイシャ
サマノマネヲスルノデ、花子サンハ、急ニ
ヲカシクナリマシタ。デモ、笑ハナイデ、ジツ
トガマンシテキマシタ。

正男サンハ、テイネイニミテカラ、



「ダイシテワルクハ
ナイヤウデス。タベ
スギデスネ。」
ト、マジメナカホヲシ
テイヒマシタ。
花子サンハ、トウトウ
笑ヒダシマシタ。正男
サンモ笑ヒダシマシタ。

十二 デンシャゴッコ

ウンテンシユハ キミダ。

シヤシヤウハ ボクダ。

アトノ 四人ガ、

デンシヤノ 才客。

「オノリハ 才早ク、

ウゴキマス、チンチン。」

ウンテンシユハ ジヤウズ。

デンシヤハ 早イ。

ツギハ ボクラノ

學校前ダ。

「オオリハ 才早ク、

ウゴキマス、チンチン。」





十三 ケンチャン

オカアサング、キモノ
 ヲヌツテ イラツシヤ
 イマシタ。ケンチャン
 ガソバへ 行ツテ、ハ
 リバコニサハツタリ、
 キレヲ ヒツパツタリ

シマシタ。

オカアサング、

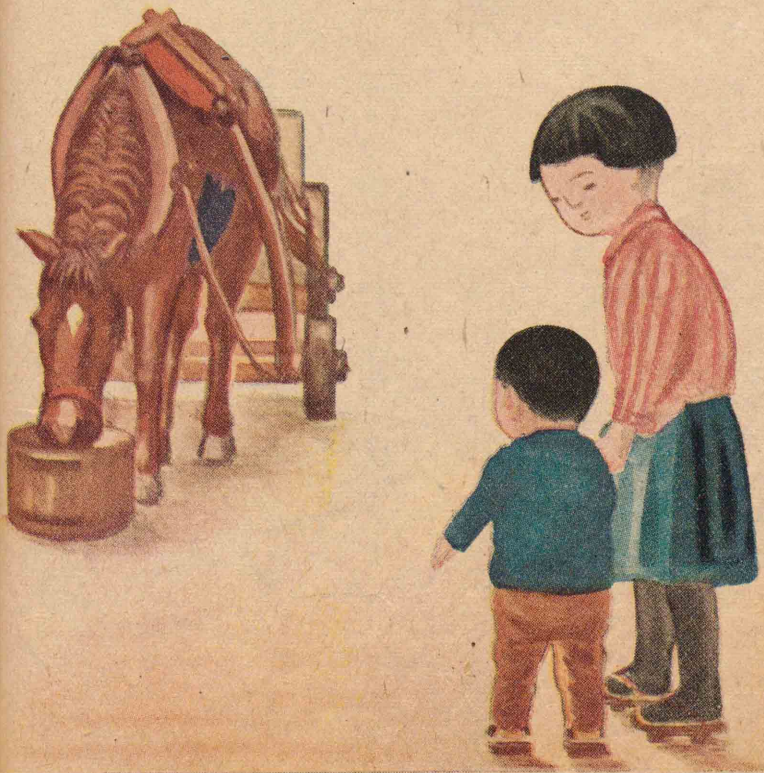
「キヌ子サン、チヨットケンチャンヲツレテ、
 ワンワンヲ見ニ行ツテチャウダイ。」

トオツシヤイマシタ。

私ハ、ケンチャンヲツレテ、外へ出マシタ。
 私ハ、オトナリノ前へ行ツテ、

「シロ、シロ。」

ト 呼ビマシタ
 ガ、シロハ 牛マ
 セン デシタ。
 ツ トムサンノ
 ウチノ 前ニ、馬
 ガ 牛マシタ。
 ケンチャンガ、
 「オンマ、オン
 マ。」



ト イヒマシタ。
 馬ハ、ヲケノ 中ヘ カホヲ 入レテ、カヒバヲ
 タベテ 牛マシタ。
 タベナガラ、トキドキ シツポヲ フツテ 牛マ
 シタ。
 ケンチャンハ、ニコニコシテ 見テ 牛マシタ。

十四 冬

一

ケサ、ハジメテ池ノ水ガコホリマシタ。
妹ガ、

「キングヨヤコヒハ、ドウシ
テキルデセウネ。」

トシンパイサウニイヒマシ

お正月来い、里から来い。

おもちつきつきとんで来い。

お正月来い、海から来い。

たからのお舟にのって来い。



十六 兵タイゴッコ

勇サンハ、オモチャノテツパウヲ持ッテ、

「ボクハホ兵ダヨ。」

トイヒマシタ。



正男サンハ、竹馬ニノツテ、

「ボクハキ兵ダヨ。」

トイヒマシタ。

太郎サンハ、竹ノツツヲ持ッテ、



「ボクハ ハウ兵 ダヨ。」

トイヒマシタ。

太郎サンノ弟ノ 次郎サンハ、小サイ シヤベ
ルヲ 持ッテ、

「ボクハ エ兵 ダヨ。」

トイヒマシタ。

勇サンノ弟ノ 正次サンハ、三リンシヤニノ
ツテ、

「ボクハ センシヤ兵 ダヨ。」

トイヒマシタ。



ユリ子サンノ弟ノ 秋男サンハ、ヲリガミノ
グライダーヲ 持ッテ、

「ボクハ カウクウ兵 ダヨ。」

トイヒマシタ。

花子サンノ 弟ノ 一郎サンハ、オモチャノ ジ
ドウシヤヲ 持ッテ、



「ボクハ シチヨウ兵 ダヨ。」

トイヒマシタ。

花子サント ユリ子サンハ、
「私たちハ カンゴフニ ナリマセウ。」



トイヒマシタ。

カタカタ カタカタ、
パンポン パンポン、

兵タイゴッコ。

カタカタ カタカタ、
パンポン パンポン、



オ日サマノトコロへオヨメ

ニアゲルコトニシマシタ。

ネズミノオトウサンハ、オ日

サマノトコロへ行ッテ、

「私ノウチニ、タイヘンヨイムスメガア

リマス。セカイ中デ、一バンエライカタ

ノトコロへ、アゲタイト思ヒマス。一バ

ンエライカタハ、アナタデス。ドウカ、



私ノムスメヲモラツテクダサイ。

トタノニマシタ。

オ日サマハ、

「アリガタイガ、オコトワリシマセウ。セカ

イ中ニハ、私ヨリモットエライ人ガ

マスカラ。」

トオツシヤイマシタ。

ネズミノオトウサンハ、ビックリシテ、

「ソレハダレデスカ。」

トタツネマシタ。

オ日サマハ、

「ソレハ雲サンデス。イクラ私ガテツテ

ヰテモ、雲サンガ來ルト、カクサレテシマ

ヒマス。雲サンニハカナヒマセン。」

トオツシヤイマシタ。

ネズミノオトウサンハ、雲ノトコロへ行ツ

テ、

「セカイ中デ、一バン エライ アナタニ、ムス
メヲ アゲタイト 思ヒマス。」

トイヒマシタ。

雲モ コトワリマシタ。

「セカイ中ニハ、私ヨリ モット エライ 人ガ
キマスカラ。」

トイヒマシタ。

ネズミノ オトウサンハ、ビックリシテ、

「ソレハ ダレ デスカ。」

トタヅネマシタ。

雲ハ、

「ソレハ 風サン デス。イクラ 私ガ 空デ
イバツテ キテモ、風サンガ 來ルト、吹キト
バサレテ シマヒマス。風サンニハ カナヒ
マセン。」

トイヒマシタ。

ネズミノオトウサンハ、風ノ

トコロへ行ツテ、

「セカイ中デ、一バンエライ

アナタニ、ムスメヲアゲタ

イト思ヒマス。」

トイヒマシタ。

風モコトワリマシタ。

「セカイ中ニハ、私ヨリモツ

トエライ人ガキマスカラ。」

トイヒマシタ。

ネズミノオトウサンハ、

「ソレハダレデスカ。」

トタヅネマシタ。

風ハ、

「ソレハカベサンデス。イ



クラ私ガチカライツパイ吹イテモ、カベ
サンハヘイキデキマス。カベサンニハ
カナヒマセン。」

トイヒマシタ。

ネズミノオトウサンハ、カベノトコロへ行
ツテ、

「セカイ中デ、一バンエライアナタニ、ムス
メヲアゲタイト思ヒマス。」

トイヒマシタ。

カベモコトワリマシタ。

「セカイ中ニハ、私ヨリモット、エライ人ガ
キマスカラ。」

トイヒマシタ。

ネズミノオトウサンハ、

「ソレハダレデスカ。」

トタヅネマシタ。

カベハ、

「ソレハ、ネズミサンデス。ネズミサンニ

ガリガリトカジ

ラレテハ、タマリ

マセン。」

トイヒマシタ。

ネズミノオトウサンハ、「ナルホド、セカイ中

デーバン、エライノハ、ネズミダ。」ト思ヒ

「サア、ナンダラウ。手ノ上ニゴムマリヲ

ノセテ、キルネ。」

「サウデス。」

「フウセンカナ。」

「イイエ、チガヒマス。」

「デハ、チキウダラウ。」

「イイエ、コレハ、オ月サマガ雲カラ出テ

來ルトコロデス。」



二十 日本の上るし

日本の上るしに
はたがある。

朝日をうつした
日の丸のはた。

日本の上るしに
山がある。

すがたのりっぱな
ふじの山。

日本の上るしに
うたがある。
ありがたいうた、
君が代のうた。



二十一 花サカチヂイ



ムカシムカシ、アルトコロニ、オヂイサンガアリマシタ。犬ヲ一ピキカッテ、タイソウカハイガッテヱマシタ。アル日、犬ガ畠ノスミニデ、「ココホレ、ワンワン、ココホレ、ワンワン。」トナキマシタ。

オヂイサンガ、ソコヲホツテニマスト、土ノ中カラ、オカネヤタカラモノガ、タクサン出マシタ。

トナリノオヂイサンハ、ヨクノフカイ人デシタ。コノ話ヲキイテ、犬ヲカリニ来マシタ。ムリニ犬ヲナカセテ、畠ヲホツテニマスト、





キタナイモノバカリ出マシタ。
オヂイサンハ、オコツテ 犬ヲ コ
ロシテシマヒマシタ。

犬ヲ カハイガツテ 牛タ オヂ
イサンハ、タイソウカナシミマシ
タ。犬ノオハカラツクツテ、ソコ
へ、小サナ松ヲ一本ウエマシタ。
松ハ、ズンズン 大キク ナリマ
シタ。オヂイサンハ、ソノ松ノ木

デ、ウスヲ コシラヘマシタ。ソレデ 米ヲツクト、
オカネヤタカラモノガ、タクサン 出マシタ。

トナリノ オヂイサンハ、マタ
ソノウスヲ カリニ 来マシタ。
米ヲツイテミマスト、キタナイ
モノバカリ 出マシタ。マタ オ
コツテ、ウスヲコハシテ、火ニ
クベテシマヒマシタ。

犬ヲカハイガツテ 牛タ オヂ





「花サカチヂイ、花サカチヂイ。カレ木ニ花ヲ咲カセ

イサンハ、ソノ 灰ヲ モラツ
テ來マシタ。スルト、風ガ吹
イテ來テ、灰ヲトバシマシタ。
ソレガ、カレ木ノ 枝ニカカツ
タカト 思フト、一ドニ パツ
ト 花ガ 咲キマシタ。
オヂイサンハヨロコビマシ
タ。灰ヲザルニ入レテ、

マセウ。」

トイッテ、アルキマシタ。

トノサマガオ通りニナツテ、

「コレハオモシロイ。花ヲ

咲カセテゴラン。」

トオツシヤイマシタ。

オヂイサンハ木ニノボツテ、

灰ヲマキマシタ。スルト、カレ

木ニ花ガ咲イテ、一ドニ花ザ



カリニナリマシタ。

トノサマハ、

「コレハフシギダ。キレイダ、キレイダ。」

トオホメニナツテ、ゴハウビヲタクサンクダサイマシタ。

トナリノオヂイサンハ、ノコツテキタ灰ヲカキアツメテ、カレ木ニノボツテ、トノサマノオカヘリヲマツテキマシタ。ソコへ、トノサマガオ通りニナツテ、「モウ一ド、花ヲ咲カセテゴラン。」

トオツシヤイマシタ。

オヂイサンハ、灰ヲツカンデマキマシタ。イクラマイテモ、花ハ咲キマセン。シマヒニ、灰ガ、トノサマノ目ヤロニハイリマシタ。

トノサマハ、

「コレハニセモノダ。ワルイヤツダ。」

トオツシヤイマシタ。

オヂイサンハ、トウトウシバラレテシマヒマシタ。

二十二 ユメ

ユウベ、ネドコニ ハイッテカラ 考へマシタ。

私ニハ、オトウサンモ アリマス。オヂイサンモ アリマス。ケレドモ、オヂイサンノ オトウサンハ、オイデニナリマセン。

今ハ、オイデニ ナラナイガ、前ニハ、オイデニ ナッタニチガヒアリマセン。ソレハ、ドンナ オカタデアッタ デセウ。

コンナ コトヲ 考へテ 唄ルウチニ、イツノマニカネムツテ シマヒマシタ。

ユメニ、ヒロイノハラヲ 見マシタ。

花ガ一メンニ 咲イテ、テフテフガ トンデ 唄マシタ。

ソコへ、一人ノ オヂイサンガ 出テ 來マシタ。見ルト、私ノ オヂイサンニ ヨク ニタ カタ デシタ。

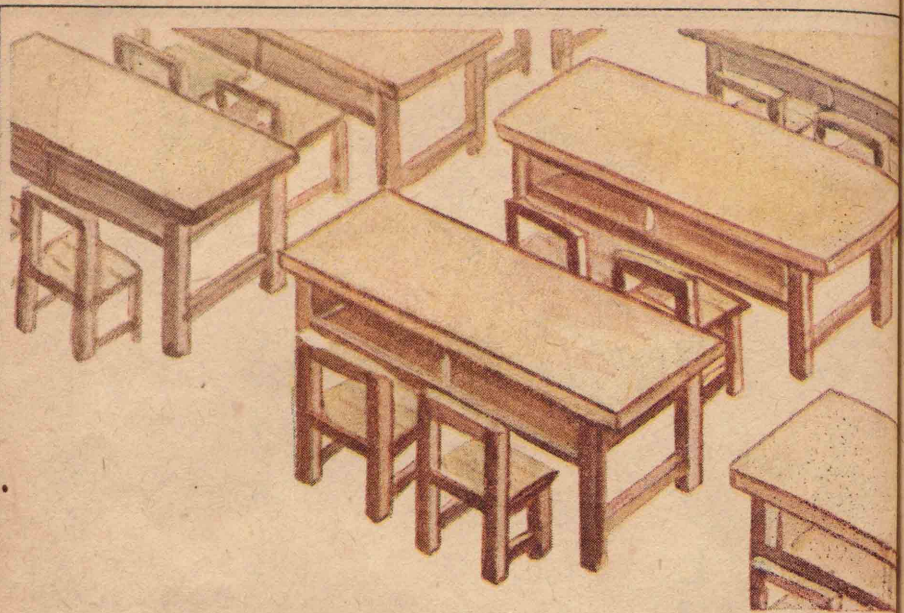
私ハ 思ハズ、

「オヂイサン。」

トイヒマスト、ソノカタハ、
 「ワタシハ、オマヘノオヂイサンノオトウサンダヨ。」
 トイツテ、ニコニコナサイマシタ。

二十三 机とこしかけ

先生が、こんなお話をなさいました。
 「みなさんのつかってゐる机もこしかけも、長い
 間はたらいてゐます。
 二年生も、これでべんきやうを しました。 三年生



も、これでべんきやうを
 しました。
 四年の人、五年の人、
 六年の人、その前の人
 も、これをつかひました。
 みなさんの生まれる前か
 ら、この机もこしかけも
 あつたのです。」
 ここまで お話を きいた

とき、ふと、私は、ゆうべのゆめのことを思ひ出し
ました。

先生は、つづけておっしゃいました。

「こんど、みなさんが二年生になったら、新しい一
年生がはいって来て、またつかひます。この机
やこしかけを、かはいがってやりませうね。」

二十四 ウグヒス

「勇サン、モウ七時 スギマシタ。早く オキナイト、

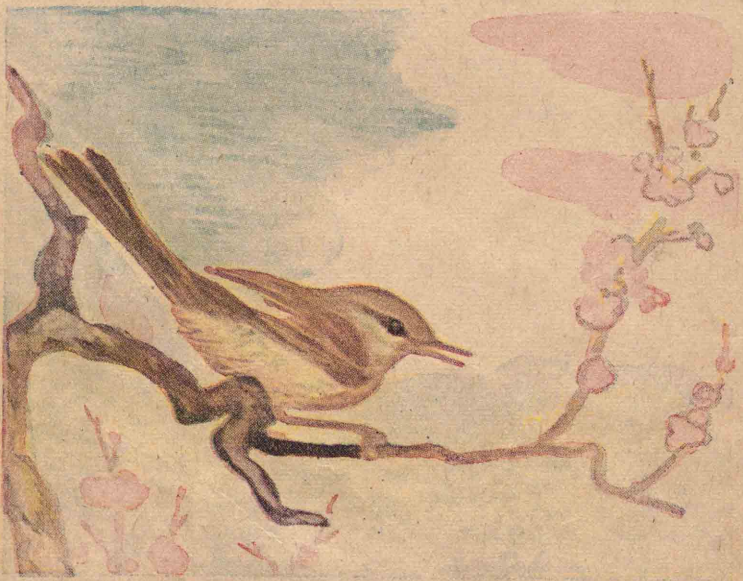
学校ガ オクレマスヨ。」

ト、ネエサンガイヒマシ
タ。

「ハイ。」

ト、勇サンハ ヘンジラ
シマシタガ、マタ ネテ
シマヒマシタ。

「勇サン、勇サン、早く
オキナイト、学校ガ



オクレマスヨ。」

ネエサンハ、前ヨリモ大キナコエデイヒマシタ。

勇サンハ、スグオキヨウト思ヒマシタ。ケレドモ、

ネムクテネムクテタマリマセン。

ソノ時、庭ノ方デ、

「ホウホケキヨ。」

ト、ナクコエガシマシタ。

ネエサンハ、

「アラ、ウグヒスヨ。」

トイッテ、シャウジノガラスカラ外ヲ見ナガラ、

「モウ春デス。勇サンモ、ヂキ二年生デハアリマ

センカ。サア、早クオオキナサイヨ。」

トイヒマシタ。

勇サンハトビオキマシタ。

庭デハマタウグヒスガ、

「ホウホケキヨ。」

トナキマシタ。

二十五 つくし

ぽかぽかと
あつたかい日に、
つくしのばうやは
目がさめた。
つくしだれの子、
すぎなの子。

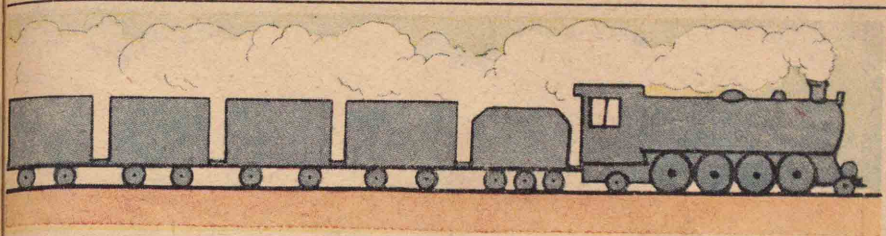
土手の土

そつとあげて、
つくしのばうやが
のぞいたら、
外はそよそよ
春の風。

二十六 汽車

「ゴー」。





と、とほくの方で音が
しました。

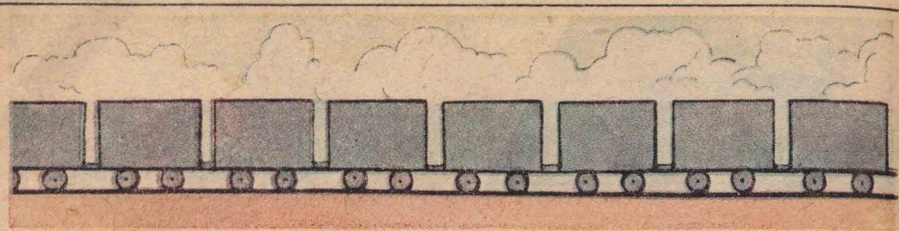
「汽車だ。正ちゃん、見に行かう。」

と、にいさんがいひました。

ぼくたちは、畠の中の

みちを走って、せんろの方へ行きました。

汽車はぐんぐん大きくなって、こっちへ
來ます。



「くわもつ列車だ。長い、長い。」
と、にいさんがいひました。

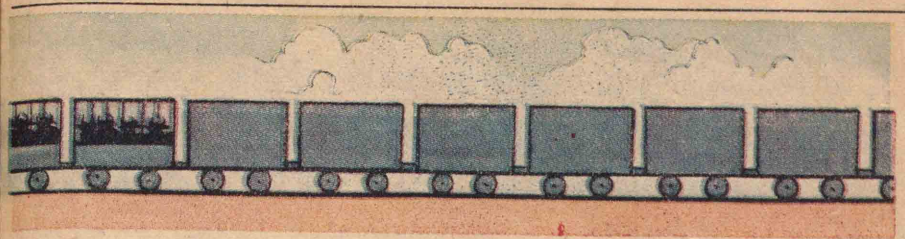
「シュツ、シュツ、シュツ、シュツ。」

と、きくわん車が大きな音をたてて
來ました。

「いくつあるか、かぞへてみよう。」

と、にいさんがいひました。

くろいはこの車が、あとからあとから
やって來ます。



「一、二、三、四、五、六、七、八。」

とかぞへて、十八まで来た時、牛のたくさ
んのつてゐる車が、いくつか通りました。

「おや。」と思つてゐる間に、ぼくは、車
のかわからなくなりました。

牛のあとから、大きな木をつんだ車や、
石をつんだ車が、いくつもいくつも通り
ました。おしまひごろになると、にさんは、
大きなこゑを出してかぞへました。

「四十六、四十七、四十八。みんなで四十八

あつた。」

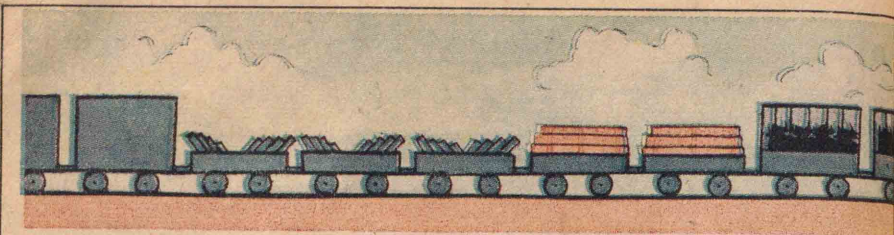
といひました。

汽車は、だんだん小さくなって、とぼくの
方へ行つてしまひました。

ぼくは、さつき見た牛のことを考へて、

「ぼくも汽車にのりたいなあ。」

と思ひました。



汽 (103)	考 (94)	朝 (84)	郎 (59)	氷 (51)	笑 (42)	灰 (29)	西 (18)	村 (4)
車 (103)	今 (94)	丸 (84)	次 (60)	雪 (52)	客 (44)	林 (31)	夕 (18)	海 (5)
走 (104)	机 (96)	君 (85)	工 (60)	竹 (52)	學 (45)	行 (31)	赤 (20)	青 (5)
列 (105)	先 (96)	代 (85)	生 (65)	炭 (55)	校 (45)	音 (31)	東 (20)	方 (6)
牛 (106)	間 (96)	畠 (86)	思 (66)	口 (55)	私 (47)	弟 (33)	秋 (23)	天 (7)
	年 (96)	土 (87)	雲 (69)	光 (55)	呼 (48)	火 (34)	柿 (23)	外 (7)
	新 (98)	話 (87)	風 (71)	持 (56)	馬 (48)	消 (34)	早 (25)	枝 (8)
	時 (98)	米 (89)	吹 (71)	舟 (57)	冬 (50)	里 (39)	長 (26)	店 (10)
	庭 (100)	咲 (90)	送 (77)	兵 (58)	池 (50)	病 (40)	栗 (28)	急 (14)
	春 (101)	通 (91)	立 (78)	太 (59)	妹 (50)	氣 (40)	前 (29)	正 (17)

昭和十六年八月十三日
文部省檢査日



發行所

東京書籍株式會社

印刷所

東京書籍株式會社工場

翻刻發行兼印刷者

東京書籍株式會社

代表者 井上源之丞

著作權所有

著作權者

文部省

昭和十六年八月十八日
昭和十六年八月十一日
昭和十六年八月十一日
印刷發行
翻刻發行
翻刻發行

ヨミカタニ
定價金拾九錢
る

上野明弘